



学校だより

調布市立調和小学校
令和7年1月31日(金)
校長 武田 美穂子

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chowa-sho>

Mail: chowa-sho@chofu-schools.jp

春への準備

副校長 佐久間 信介

新年を迎えてから1か月が過ぎようとしています。この時期、寒波も押し寄せ、厳しい寒さとなっている日本列島。一年で最も寒い時期とされる「大寒」を過ぎ、もうすぐ2月を迎えます。朝、布団から出るのが億劫になり、「もう少しだけでよいから寝ていたい…」と感じる方も多いのではないのでしょうか。寒さに縮こまりながら登校してくる子供たちの様子を見て、「大人だけでなく子供も同じなのだなあ。」とほほえましく感じます。それでも、休み時間になると、子供たちは元気いっぱい声をあげて校庭で遊んでいるのですから、「子供は、風の子」とはよく言ったものだと感じています。

待ち遠しいのが暖かな春。2月は「如月(きさらぎ)」という美しい旧暦の月名もあります。「きさらぎ」は、私自身は何かキラキラとした印象を受ける言葉で、とても好きな月です。語源には、寒さのために着物を重ねる「衣更着」、春めいて陽気が盛んになる時季を意味する「気更来」などがあるそうです。静かな気持ちで自然と向き合いながら、草木や動物たちも、そして私たちも、目覚めの季節への準備を始めるタイミングかもしれません。

また、旧暦では、2月は季節の変わりめで、新年でもあります。この時期に行われる伝統行事といえば「節分」です。「立春」の前日で、今という大晦日のようなものです。今年の「節分」は、4年ぶりに2月2日です。よく行われる豆まきは、季節の変わりめに起こりがちな病気や災害を鬼に見立て、「鬼は外、福は内」と唱えながら1年の無病息災を願います。最近では、幸運を招く方角を向いて、黙って巻き寿司を丸かぶりする風習も人気となっています。こうした風習は地域によって違いがあるようです。学校では、自分を見つめ、直したいことを「怠け鬼」「おこりんぼ鬼」「忘れんぼ鬼」などの「鬼」に例えて追い出す活動を行うこともあります。昔からある伝統的な行事に親しむことも大切にしたいものです。給食でも節分の特別献立を用意しています。楽しみですね。

学校では、どの学年も1年間のまとめに入るとともに、新年度に向けての準備を進める時期です。6年生は卒業に向けた取組が進んでいます。廊下を歩いていると卒業式の入場曲演奏が聞こえるようになり、5年生は最高学年としての準備を始めています。たてわり班活動では、5年生ヘリーダーの引き継ぎもすでに行われ、だいぶ慣れてきました。1年生は、先日、幼稚園・保育園生を迎え、昔遊びを教えることをとおして、お兄さん・お姉さんになる意識をもつことができました。

この機会にお子様と話し合い、新年度に向けて苦手なことを克服したり、新しい目標を設定し挑戦してみたりするとよいかもしれません。また、新年の抱負を振り返ってみるのもよいでしょう。寒い時期は、心も体も内向きになりがちですが、寒さに負けずいろいろなことにチャレンジする、充実した1か月にしてほしいと思います。

今しばらくは寒い日が続きますが、「三寒四温」という言葉があるように、寒暖を繰り返しながら徐々に春めいた日も多くなってきます。春の到来を心待ちにしながら、今の学年のまとめが充実したものとなるように教育活動を展開してまいります。



休み時間のたてわり班での長なわとび練習風景

学校公開・道徳地区公開講座 2月8日(土)

2月8日(土)に学校公開・道徳地区公開講座を行います。学校での児童の様子をご覧いただける機会がございますので、ぜひお越しください。今回の公開授業をもとに、日頃の道徳の授業についてご家庭でお話をいただければ幸いです。当日はお子様は道徳の教科書を持ち帰りますので、授業の内容や様子を振り返っていただき、ご一緒に考える時間をつくっていただけたらと思います。持ち帰りました教科書は翌週12日(水)に学校に持たせてください。多くの地域や保護者の皆様のご来校をお待ちしております。

3学期も学校ホームページは毎日更新予定です。ぜひご覧ください！